

2020年版 [釣行回数: 27回 平均釣果: 37.6尾 総釣果: 1,015尾 1日最高釣果: 108尾 最長寸: 23cm]

No. 001

釣行月日: 2020年06月02日(火) 07:00~16:30

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 赤木川・四村川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 9尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

新型コロナというウイルスが世界で広まって人間の行動に影響が出て今年はアユ釣りにおいても例外ではなくなっている。遠征はどうか気になるところ。解禁から2日目となるがどうか? 赤木へと行く。

二人ほど橋の下流で竿を出している。では橋の上流は入ることにする。

養殖スタートさせる。2日目といっても掛かるだろうとポイントを探るも目印に変化がない。広範囲に攻めても全くダメ。オトリの動きも悪く最悪調達せねばならない。今の時期は流石に何処でも掛かる訳がないのでポイント選びにかなり苦労する。トロ場に付いていれば何とかなるだろうけどそのようなところはあるまい。上流へ移動し掛かる気がしないがチャラ瀬の対岸近くでようやく掛かる。2尾めも暫くして掛かる。ただそれからというもの掛からず1尾追加できたのみ。少し下流で1尾追加したのみ。11時過ぎには請川へ移動。護岸工事の影響で川幅が狭くなってどうだろう? 掛かる気がないのでポイントで落ちついて泳がすことができないこともあるのだろう掛からない。

暑さと釣れないとで歩く気力もなくなり上流へ移動してみる。

少し深場の瀬があったのでやってみるも数尾追加できただけ。四村川の耳打まで歩いてみても2尾追加できただけ。

その後は坊主ハゼしか掛からず本日の釣りは終了することにした。釣れない今の時期をどう攻めるのか今後の課題。

次回もめげず行くことにしよう。



No. 002

釣行月日: 2020年06月06日(土) 06:30~16:30

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 熊野川・赤木川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 10尾, サイズ: 10cm~16cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

支流が駄目ならと本流へ入ってみる。本宮大社辺りから始める。石も結構入っていて流れも申し分ない。

いつもなら掛かるはずだが...やはり此処も厳しいのか? オトリサイズが1尾掛かったのもあとにはビリアユ。

敷屋に行ってみる。今まで最悪の状態青藻もあり減水掛かる気はしない。一応竿は出してみるがやはり×。

前回掛かった赤木のポイントへ行くもビリしか掛からず。結局オトリに使えるサイズは2尾で合計何とか10尾。

アユはいるがまだ小さくできていないのだろうか? 掛かりだすのは梅雨明けぐらいからか。

もう明日はどこにも行く気がしない。民宿大村屋で前の川で掛けてきたという鮎を見せてもらう。

20cm前後とバカでかい。羨ましい。



No.003

釣行月日: 2020年06月07日(日) 10:20~17:40

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 有田川(和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 46尾, サイズ: 10cm~16cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

民宿では2代目ペコちゃんが居てた。チャボのヒヨコにも会えて癒しをもらった。

もう釣りに行く気がないので朝遅めに民宿を出る。

四村川上流を見ながら国道を走る。近露でも見てからと思ったが有田川へ向かっていた。

国魚オトリ店に9時半頃に到着。年券は写真が必要?

殿さんが倶楽部のメンバーの写真を置いて頂いてた様で無事券を購入できた。

息子さんが先週2日間連続で50尾程掛かったとのことで行ってみる。お~いつもの所に必ず居るので話しかけてみる。

やはり息子さんだった。流石に一週間も経つと敵しそう。自分は左岸の浅場が良さそうに見えたので入ってみる。

最初の3尾はテンポ良く掛かる。その後ピリが混じり循環が良くない。

途中吊り橋の周辺に入るもピリばかりで調子が上がらない。

夕方元の場所に戻り日が陰ってきたころに今まで掛からなかった所でも掛かり40尾超え。

お持ち帰りは半分弱。全体に小さ過ぎる。もう1月位から良くなるのではと期待。



No.004

釣行月日: 2020年06月20日(土) 07:00~16:40

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 16℃

河川: 九頭竜川勝山地区(福井県)

水況: 高水・濁り無し

釣果: 11尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

ここは初釣行で解禁日となるのでどうだろう。クラブの二人が入るといので同行させてもらうことにした。

保田のオトリ店で落ち合うことにした。関西の河川ほど込み合うことがあまりないのでのんびり釣りができる。

水温が低く活性はどうなのだろう。瀬肩の少し上に入る。手前で掛かが時間がかかった。型は20cm程。これからが掛からず途方にくれる。ヤマメやウグイが掛かりアユ釣りを忘れる。アユが掛かったと思っても小さい。場所も瀬なども回ってみても厳しい。倶楽部の二人もツ抜けくらい。今年は釣果低迷中。



No.005

釣行月日: 2020年06月23日(火) 07:00~18:00

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 15℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 56尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今年初の上桂川。他の河川からスタートしてきたものの9尾, 10尾, 11尾と貧果。

12尾かそれとも指数関数的に一気に上昇するか? 7時前に中江橋を通過する時には下流の瀬は解禁並みに混雑。亀の甲橋に行ってみると駐車場には1台しか止まっていなかった。ポイントは十分に確保できそう。

着替えをして, オトリ缶は浸けず曳舟にオトリを入れてから入川。まずは折口から始める。

最初は上流に向かっていてのに途中急に下流に走り斜め向こうに泳ぐ。

群れと一緒にいるのかオトリを元に引き寄せようとすると何か重い。

何と掛かっているのではないか。いきなり19cm程の大きさ。次も良型。その次からは2尾連続ビリアユで白い。

その後周辺を攻めても掛かる気配が無い。一段下がって瀬をやる。

ポンポンと適度に掛かって昼までに根掛損失もあり20尾程。徐々に下に移動して5尾前後掛けては場所移動。

橋の下流まで移動しながら釣ってみた。今日にしては上出来だ。次回はそんなに数は出ないだろう。

もう夏至を過ぎてしまった。日も徐々に短くなる…



No.006

釣行月日: 2020年06月27日(土) 06:30~18:20

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水, 濁り無し

釣果: 41尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

2回目の釣行。京都の町中をスムーズに通れるように早朝に家を出る。

オトリ操作を乱雑にしないように今回はオトリを1尾にしてみる。

中江橋下流の瀬では前回同様釣り人で早くも埋まっている。

亀の甲橋上流の左岸駐車場はまだ車は止まっていなかった。釣り人は堰堤の少し下辺りに数名居るくらい。

橋の真下前後にも3名? それ以外は何処でも入れる。前回より少し下流に入ることにした。

今回は簡単には掛からない。1箇所5尾前後, 途中下からSさんが話しかけてきた(一年ぶり?)。

掛からず難儀しているようで現時点で1尾とのこと。ある程度同じ場所で辛抱して泳がせるしかないのかなあ。

掛かるアユが白く小さくなったので下流へと移動。なるべく深い所を狙って攻めてみた。

小石底や浅場ではまだ厳しい感じ。夕方6時過ぎまで頑張って何とか40尾超。



No. 007

釣行月日: 2020年07月19日(日) 08:15~17:15

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 16℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 高水・濁り無し

釣果: 20尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

なかなか釣りができる状況にならずもう7月後半。

まだ水が下がらないけど天気良さそうなのでとりあえず行くことにした。

道中片側交互通行の所があるも何とか行くことは可能。上流の花脊・交流の森まで行く。

流れの弱い所では苔が残っている。ほとんどがまだ苔は付いておらず流心はまず掛からない。

流れの緩い水深のあるところで何とか掛かる。岩盤か大石周辺がポイントの様。交流の森では4尾のみ。

山稜橋に移動。意外と川遊びする人が多い。岩盤と大石周辺で根掛で1尾損失もあり8尾止まり。

次は亀の甲橋へ移動。流石に釣り人多い。今までと同様の釣りで何とか20尾まで掛けることができた。

もう少し水位が下がり苔が付けば面白いのだが… 早く梅雨が明けてほしい。



No. 008

釣行月日: 2020年08月02日(日) 07:30~17:20

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 18尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今年は結局7月は1日しか釣りに行けてない。今ままでなかったのでは？

もう8月。ようやく梅雨が明けた様だがすっきりしない天気が続いている。青空のもとでやりたい。

早朝はまだ釣り人も多くなくポイントには十分入れる。オトリ1尾のみで開始。

瀬落ちで時間がかかることなしに天然に変わる。2尾目もすぐに来た。しかし、ここから掛からず苦勞する。

今まで必ず掛かるポイントでも掛からず。ポイントを変えて移動するも1ヶ所で掛かる数も限られていた。

釣り荒れか大水でアユが移動したか？根掛やトラブルで2尾損失。

根掛でオトリ回収中にこけてカメラ水没し釣果の写真撮れず。



No.009

釣行月日: 2020年08月04日(火) 06:30~17:20

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 43尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

6月から2ヶ月経って状況はどうなったか? 本流はまだ濁ってる。近畿でいつまでも濁っているのは十津川水系のみ。どうにかならなもののか? 二津野ダムは殆ど機能していないし…流入ぶん放水してるし…あの濁りを見る気もしない。

年に何回入れるのだろう? 一度北山川に入ってみようかとも考えてみたりする。

さて、前回入った赤木川はどうなったのか? 時期が遅れてるだけなら今は掛かるだろう。

でも6月の厳しさがあるので掛かるかが不安。オトリを弱らせないように慎重にポイントに送り出す。

どうも思うような泳ぎをしてくれず。しかし何とか掛かりそうなポイントでオトリを替えられた。その後は掛からなかったポイントでも掛かり本来の追いのパターンで一安心。掛かるポイントも増えこれからも期待できそう。

かなり歩き回って掛かるポイントを確認。

まだトロ場での追いがいまいちであるが、もうそろそろ掛かりだすだろう。そうなると最盛期になると思う。



No.010

釣行月日: 2020年08月07日(金) 06:45~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 大塔川・四村川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 36尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

請川周辺に入ってみる。浅く小石底になって掛かるかどうか?

やってみるしかない。ゆっくりと立ちこみオトリを泳がせる。

アユは居そうなのだが…掛かるアユは小ぶりで痩せ気味。昼頃になると水温も上がりオトリも弱りが早い。

曳舟を完全に浸けるようにしないとやばい状況になってしまう。人間も暑さで歩くものかなりの負担になる。

歩き回って深場を攻めてみるも掛からずアユも殆ど見えない。土用隠れ状態でどのポイントもかなり厳しそう。

結局は瀬肩中心の釣りで何とか数が稼げた感じ。



No.011

釣行月日: 2020年08月08日(土) 07:45~18:10

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 34尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

赤木川にしようど何時もの手前のポイントに入ることにしてみる。前面に程良い大きさの石が入っていて良さそうに思えるがどうなんだろう? 手前の寄れに入れてみるも思うポイントに行ってくれない。手前の筋は掛からず。対岸の筋で1尾掛かる。2尾めも広範囲にオトリが行ったり来たりで何とか掛かる。

その後瀬肩まで移動しても掛からず。アユも見えない。瀬落ち瀬肩と移動しても掛かる気配がない。

諦め何時ものポイントへ移動。かなり厳しそうなのでポイントをじっくり泳がせてみるしかない。

暑いので場所移動も一苦勞。各ポイントで5尾前後掛かり30尾ちょい。水温も高くなりかなり厳しい状態。



No.012

釣行月日: 2020年08月10日(月) 06:35~18:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: 平水, 濁り無し

釣果: 80尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

安曇川では50尾前後の釣果が出ている様なので近場なこともあり行ってみようと思いついた。いつもの船橋へ。

まだ殆ど釣り人が居ないので好きなポイントへ入れる。

ただ、天然をいくつか掛けないことには一日十分に楽しめない。やはりまずは大石の周辺から始める。掛かるアユは小さくオトリには厳しいのが2尾続く。その後オトリサイズが掛かり始め回転が良くなっていく。

小石底は掛かっても掛かるテンポが遅い。大石の頭など攻めれば確実に掛かる。

段々と釣り人が増えてくる。川遊びする人も増え思い通りのポイントに入りにくくなってきた。

きつめの瀬を中心に攻めてみた。意外と良型と数も稼げた。きりの良い数になるまでやってみた。

天婦羅用にもたまには良いかな?

途中、石の不安定な所に足を取られこけてベストまで水に浸かりカメラ水没。最終釣果の写真無し。



No. 013

釣行月日: 2020年08月12日(水) 07:10~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 51尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

赤木川の今年入っていないポイントへ。下流の瀬肩には既に釣り人が居てる。

自分は橋の真下の浅場から始めてみる。直ぐに掛かるも蹴られてしまう。気を取り直してやり暫くして掛かる。

周辺で12尾程掛かった。下流でやっていた人が場所移動か?

橋の上から声を掛けられ全く掛からなかったと。先日は二十数尾掛かったとか。

泳ぎの人らが増えてきたので場所移動。いつものポイントへ。

誰も居ない。川遊びする人らは遠く離れた所なので影響はなさそう。暑くて体が参ってしまいそうなので川に座り込んで浸かって竿を出す。のんびり気長に泳がせたのが良かったのか意外とよく掛かる。

周辺を歩き回って今までとは違ってよく掛った。ツクツクボウシが鳴く季節になってきた。



No. 014

釣行月日: 2020年08月13日(木) 07:10~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 四村川・熊野川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 34尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日も暑い。川遊びする人ってこんなに多かったっけ?

ポイント探しも容易ではない。水温も上がり水量も下がってきたので非常に厳しい釣りになりそう。あまり歩き回らずに済みそうなところを選んでみたものの川遊びをする人がやってきて移動も限られる。暑さで速く移動するにも…

しかし意外にも浅場で良型々が掛かる。今まで見えていたアユが3時頃には見えなくなり周辺を探るも釣果伸びず。

何処に移動してしまったのか?



No. 015

釣行月日: 2020年08月14日(金) 07:45~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 赤木川(和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 25尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

夏休み最後の釣りか? 流石に手足は転んだりして傷やアザだらけ。おまけに暑さと疲れで広範囲に歩き回るのはしたくないので釣果はあまり期待せずに何とか楽しく釣りができればと。飽きもせずに何時もの場所へ行く。それでも辛抱してやれば掛かる。石に擦れた傷があったのか引き抜くときに野アユが水面を切ったときに糸がきれてオトリとも無くなってしまった。このトラブルは非常に大きい。気を取り直して何とか20尾を超える釣果となった。久しぶりの快晴なのでネオワイズ彗星を撮影してから帰ることにした。次に見ることができるのは凡そ5000年後とのこと。一番良かったのは7月の中旬頃だった様でその頃は天気が良くない時が続き今までなかなかチャンスが無かった。



No. 016

釣行月日: 2020年08月22日(土) 08:10~17:25

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 108尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

最初は雨の予報で行くつもりはなかったが早朝何とか行けそうなので、急遽準備をして出発。

ちょっと出遅れたけど8時過ぎに竿出し。船橋上流で釣りを開始。

瀬には釣り人が居たので道の駅裏辺りでやってみる。前回よりも追いは良くなっているようだ。殆どが黄色いアユ。

昼前まではバラシが連発で獲り込んだ数と同じくらい。掛かりが弱い? それでも10尾/時間ペースを維持。

結局は道の駅裏での釣果となる。まああまりここで粘ってやる人は居ないのかも?



2020年版 [釣行回数: 27回 平均釣果: 37.6尾 総釣果: 1,015尾 1日最高釣果: 108尾 最長寸: 23cm]

No. 017

釣行月日: 2020年08月25日(火) 08:10~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 減水気味

釣果: 25尾, サイズ: 17cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

土曜日に網の解禁なので今年最後の釣行となりそう。山稜橋から開始。毎日組なのか既に入っている。

空いているポイントにはいる。天然に変わるかどうかで一日の釣果に大きく影響するので慎重に。

30分くらいかかったが何とかGET。しかしサイズが思った以上に大きいので水中糸を0.2号に張り替える。

オトリが変わると掛かるペースが上がる。蹴られもあり数が伸びない。ポイントも時間かけて粘っても無理な感じがした

ので掛かりそうなポイントを探してみる。ひと通りやったので場所を亀の甲橋へ移動。思ったほど釣り人は居ない。

ポイントを適度に変えながら攻めていく。

掛かる度にハリス止めのハリスの位置をこまめにずらして針ハリスが切れないように注意してみた。

掛かるとすぐ走り回るので引きは堪能でき見切れしないかハラハラドキドキ。

自分にとって今年最後の上桂川釣行は十分楽しめた。



No. 018

釣行月日: 2020年08月29日(土) 07:10~17:20

天気: 晴後雨, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 日置川(和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 60尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

20尾前後の釣果のようで掛かるかどうか心配で、何処に入ろうか悩んでした。とりあえず行って見て今後の予定をどう

するか。安居なら何回か竿を出したことはあるのでここから始めてみる。減水しているが自分には丁度良い流れ。何

処に立って釣るかが重要。送り出したときに上流へ行けば良いが下流へ行くのもあるので何方に行っても大丈夫な位置

。オトリを弱らせないためにも…手前の所もポイントなので立ちこまず岸から開始。

まだ早朝なので風が無いので水中の様子が判る。鮎が見えないけど掛かるのか? 上流側へ泳いで暫くすると当たりが。

天然に変えられまずは一安心。その後は1時間10近いペースで掛かる。でもアユは安曇川と変わらないサイズ。昼まで4

0尾掛かる。昼からは少しポイントを変えてやってみる。完全のトコ。最初は5尾ほど掛かっていたが雨が降り出したん

だん強くなってきたので合羽を取りに車まで戻る。それからというもの掛からず。

元のポイントに戻ってやるも流石に午前中のようなペースでは掛からず。何とかきりの良い数まで粘ってやってみた。

数は居ることは分かった。あとはポイントでの泳がせでどうなるか?



2020年版 [釣行回数: 27回 平均釣果: 37.6尾 総釣果: 1,015尾 1日最高釣果: 108尾 最長寸: 23cm]

No. 019

釣行月日: 2020年08月30日(日) 08:10~17:20

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 減水

釣果: 35尾, サイズ: 12cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

前日で民宿の釣り人で22時頃までアユ談義。適度の疲れで良く寝れた。体力もリフレッシュできて釣り開始。民宿前では青藻だらけ請川まで広がっている。本流も大社周辺も青藻だとか? これだと敷屋も?

結局赤木川へ。前回?の浅場ポイントでやってみる。やはり掛かる。型も18cm前後とオトリには丁度良い。

段々と上流のトロで水遊びの人が増えてきた。11時には早めに弁当を食べ場所移動。ポイントには誰も居ない。

何時ものポイントで始める。かなりの減水だがそれなりの所で掛かる。走り回り獲り込むのに時間がかかる。

歩き回ってトラブルもあり釣果も足踏みしたものの30尾超える釣果で満足。なんとか雨が欲しい。



No. 020

釣行月日: 2020年09月05日(土) 06:50~17:00

天気: 晴後雨, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 高水・濁り無し

釣果: 36尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

最近行っていないボダイ周辺でやってみる。

大石か岩盤に小石底となってしまってポイントが少なくなったような気がする。

最初は太石周辺で3尾程掛かるも根掛で1尾損失。

その後各ポイントを探って数尾くらいしか掛からず周辺を歩き回っても好ポイント見つからず。

釣り人はおらず貸し切り状態。あまり掛かっていたのだから。途中で夕立がありびしょ濡れとなる。

5時頃まで頑張ってみたが段々と濁ってきて諦め終了。



No. 021

釣行月日: 2020年09月06日(日) 08:10~15:00

天気: 晴後雨, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 高水・濁り無し

釣果: 37尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

殿さん所で一泊して気を取り直し今日はブドウ園周辺に入ってみる。

国魚の息子さんはいつものポイントに入っている。自分は普通はチョロチョロの流れが瀬となっている所から開始。

30~40分くらいまでオトリ変わらず。天然に変わると4尾程掛かるが掛かる度毎にサイズが小さくなっていく。

オトリの循環が良くなり苦勞する。今度は本筋の流れに変更し大石や岩盤の際を攻めてポツリポツリで数を稼ぐ。午後からは吊橋周辺でやるもポイントが広すぎてポイントが絞れず掛からない。あるポイント周辺のみで5尾追加で元の場所に戻る。段々と雲行きが悪くなり雨粒が…昨日と同じやん。激しくなりびしょ濡れで寒くなってきた。

3時頃に終了。もう少しやりたかった。台風10号の影響で天気が安定しない釣行となってしまった。



No. 022

釣行月日: 2020年09月12日(土) 07:00~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 若干高水・濁り無し

釣果: 42尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日もダム放水で本流濁り有。他河川と違う近年の熊野川のダム放水で濁りが取れることが無い。熊野古道を訪れる人々にはどう見えるのだろうか? 北山川水系は濁りは無いのに… 今回も支流しか選択肢がない。赤木川にしようと思うけど今日は釣り人が多いかもしれないので、いつもの場所は行かずに小和瀬の渡し場跡にしてみる。

川遊びをする人は殆どないだろう。苔が飛んでいるかと心配したが何とかかなりそうな感じ。オトリが弱らないうちに掛かってくれればと思いながら瀬肩から開始。1尾めが掛かるまではちよっぴり時間がかかったけど天然に変われば循環が良くなる。ただ入れ掛は殆どないものの岸寄りの方が良かった感じ。

3時以降は曇ってきたことによるのか掛かるペースが悪くなりポイント探しに苦勞した。



No. 023

釣行月日: 2020年09月19日(土) 09:30~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 小川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 45尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

藤吉さんらが遠征で来られるとのことで古座川で合流することに。

まさかクラブの方も来られるとオトリ店の主人の話。到着するまでアユ談義。到着されて何処に入るか迷う所で…本流は少し水位が高そうなので小川に行ってみることにした。合流から近い所だがポイントは広いので何とかなるのではと安易な考え。最初の1尾はすぐに掛かる。その後小さくオトリには厳しい。場所を変えながら移動。

掛かるポイントを探すのに苦労する。上流に移動するに従い掛かる所が見えてきた感じ。

瀬肩で良型が掛かり引きも堪能できた。



No. 024

釣行月日: 2020年09月20日(日) 10:00~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 26尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

遠征の移動と釣りで掛かりの疲労で藤吉さんらは爆睡とのこと。朝から雨と寒さで早く出かけることはなさそう。

予報だと10時以降に雨は止みそう。赤木川に10時頃に到着し合羽を着て釣り開始。雨は殆ど止んでいる状態。

何時もの所からオトリスタートするも水中バレで針掛せず。

少し移動してようやく掛かる。周辺で7尾程掛かる。歩き回って何とか20尾超え。



2020年版 [釣行回数: 27回 平均釣果: 37.6尾 総釣果: 1,015尾 1日最高釣果: 108尾 最長寸: 23cm]

No. 025

釣行月日: 2020年09月21日(月) 07:30~16:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 30尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日も赤木川。藤吉さんらは本日が遠征最終となる。

何とか良いめができればと昨日よりは掛かればという思いで別のポイントへ。快晴で快適にスタートできそう。

最初は3尾連続で入れ掛かるも次からはいつものポツリポツリペース。円月釣法で飽きない程度に掛かる。

オトリを止めず常に泳ぐよう操作。かなり当たりが厳しい。

掛かったアユをタモに入った状態で曳舟まで移動してる途中で跳ねてタモから逃げられてから掛からず終了。

かなりのショック。



No. 026

釣行月日: 2020年09月22日(火) 09:30~17:00

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 薄濁り

釣果: 40尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨日の夜から翌日はどうしようか考えてたら寝てしまった。

南紀は昼頃から雨の予報。有田川は何か雨は降りそうもない。それとも帰ろうか?

気付いたら有田川へ来てしまった。ブドウ園周辺に入る。国魚の方がおられる。

連休最終日なのか釣り人は多くないような気がする。最初の数尾はよく掛かるもサイズが小さくなっていく。

場所を変えても掛かるであろうポイントには掛かるアユが居ない。2時頃に雨がポツリポツリと落ちてくる。前回の雨

のことが思い出される。びしょ濡れになるのは嫌だ。止めるべきかもう少し様子を見るべきか迷っていたら浅場で掛かり

です。周りにいた釣り人が居なくなりました。雨の影響で水面が艶消しの状態でアユの食んでるのが良く判る。

手前でも掛かるし見釣りで縄張りアユを覗ながら釣りができたりと時間の経つのを忘れさせてくれた。あと1尾掛けたら

40尾になるので頑張っようやく掛かったのが16:59ということで終了。

車に戻る途中、誰も居ないはずの釣り人が釣り橋の上流で釣りをされてた。

最後まであきらめない釣り人が居て次も頑張ろうという気になった。



No. 027

釣行月日: 2020年10月06日(火) 07:30~15:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 19°C

河川: 日置川 (和歌山県)

水況: 若干高水・薄濁り

釣果: 17尾, サイズ: 12cm~16cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

台風の進路によっては今週末以降アユシーズン終了かとも思い、天気の良い日に行ってみようと考えた。前回良い思いをもう一度と期待しての釣行。オトリ店に行ってみるともうオトリが最後のタイミングだった。オトリが天然に変われば何とかなると甘い考え。安居に行ってみる。オトリ店では台風の前に放流をしているとのこと。そういえば今まで陸であったとわかる白い石まで水が来ている。10cmは高くなっている感じ。ちょっと気がかりだが手前の流れの緩い所からとオトリを泳がせると手前に戻って来ってしまう。何度やってもこちらに来てしまう。もう一つのオトリに変えて釣り開始。掛かったのは30分後。小さいアユ。オトリに変えて泳がすも次が来ない。場所を変えながらやっても同じようなサイズで時折ウグイが2尾。結局3尾しか掛からず。場所をワルゴケ・高瀬に移動。まずはワルゴケから開始。最初はすぐに黄色いアユ16cmが掛かり、やっとこれからかと思っただがいまいち続かない。高瀬まで歩きながら探してみたものの思うような釣りができず早々に納竿することにした。台風で終わりかな？

